

科目	英語 (English)		
担当教員	上垣 宗明 教授		
対象学年等	応用化学科・2年・通年・必修・4単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	B3(80%), D2(20%)		
授業の概要と方針	4技能のバランスに配慮しながら、第2学年として必要な英語力を総合的に身につける。演習科目でもあるので、授業中に指示される方法で予習・復習を必ず行い、授業に積極的に参加し、発表すること、英語音声を利用した演習を行うことが強く求められる。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	[B3]2年次レベルの語彙・表現を習得する。		2年次レベルの語彙・表現を習得できているかを、中間・定期試験及び演習で評価する。
2	[B3]2年次レベルの文法項目を習得する。		2年次レベルの文法項目を理解しているかを、中間・定期試験及び演習で評価する。
3	[B3]2年次レベルの英語長文を正しく解釈できる。		2年次レベルの英語長文を正しく解釈できるかを、中間・定期試験及び演習で評価する。
4	[B3]2年次レベルの英語を聴いて正しく理解したり、リピートしたりできる。		2年次レベルの英語長文を正しく解釈できるかを、中間・定期試験及び演習で評価する。
5	[D2]英文を通して、異文化に属する人々の文化、生活様式、物の見方が理解できる。		異文化の諸事情について理解できているかを、演習で評価する。
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験70% レポート・演習30% として評価する。授業中の演習が十分に行われない場合、原則として年間総合評価は不可となる。		
テキスト	「Grove English Communication II」:倉持 三郎ほか7名著(文英堂)		
参考書	「総合英語 Evergreen」:埴タカユキ編著(いいずな書店) 「総合英語 Evergreen English Grammar 27」:いいずな書店編集部編著(いいずな書店)		
関連科目	本科目はこれ以外の英語科が開講する全ての科目に関連する。		
履修上の注意事項	電子辞書,または英和辞書を持参すること。		

授業計画 (英語)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	Introduction	英語学習の心構え. 予習復習の仕方の説明等.
2	Lesson 1 Mt. Fuji: The Pride of Japan	2013年,世界遺産に登録された富士山の歴史と現在の姿を通して,富士山の今後について考える。「S+V」「S+V+C」「S+V+O」/「S+V+C(=that節)」/「S+V+O1+O2」「S+V+O+C」
3	Lesson 1 Mt. Fuji: The Pride of Japan	第2週と同じ
4	Lesson 1 Mt. Fuji: The Pride of Japan	第2週と同じ
5	Lesson 2 Yes, I Do Climb	ロッククライマーの白石阿島さんが難しい挑戦から得たものについて,自身のことばで伝える. 現在完了形/過去完了形/過去完了進行形
6	Lesson 2 Yes, I Do Climb	第5週と同じ
7	Lesson 2 Yes, I Do Climb	第5週と同じ
8	中間試験.試験答案返却.	これまでに学習したことについて試験を行う. 答案返却と解説.
9	Lesson 3 A Penguin Called Happy Feet	ニュージーランドの海岸に迷い込んだ1羽のペンギンは,世界中の注目の中,特別な待遇を受けて海に帰された. 助動詞/助動詞+完了形/受け身
10	Lesson 3 A Penguin Called Happy Feet	第9週と同じ
11	LESSON 4 Warka Water	アフリカの水問題に立ち向かうため,イタリア人デザイナーが試行錯誤の末,空気中の水を取り込む画期的な装置を開発した. 助動詞を含む受け身/「S+V+O(=that節)」/「S+V(+O)+O(=疑問詞節など)」/未来進行形
12	LESSON 4 Warka Water	第11週と同じ
13	Lesson 5 A Hidden History of Tomatoes	私たちの食卓に欠かせないトマトの知られざる歴史を知り,世界に広まった道のりをたどる. 進行形の受け身/「S+V+O(=that節)」の受け身/「S+V+O+O」「S+V+O+C」の受け身/完了形の受け身
14	Lesson 5 A Hidden History of Tomatoes	第13週と同じ
15	テスト返却と今までの総復習,課題について	答案返却と解説. それをもとにそれまでの学習の振り返りを行い,各自の学習の仕方で改善すべき点があれば,具体的な改善方法を考える. 次に夏休み中の課題,及び課題以外の英語の学習の仕方について説明・アドバイスがなされる.
16	LESSON 6 Iceland	厳しい寒さ,噴火する火山など,過酷な環境にいるアイスランドの人々は,その厳しい環境を利用して独自の豊かな生活を送っている. 比較 /to不定詞の用法 / It is+~(for~)+ to不定詞 / 動名詞 / 「S+V(=be動詞)+形容詞+that節」
17	LESSON 6 Iceland	第16週と同じ
18	LESSON 7 Which Jam Would You Like?	ジャムを購入するときの実験を通して,人間が選択をする際の考え方を分析する. 関係代名詞 / 「S+V+O+C(=現在分詞/過去分詞)」/ 分詞の形容詞的用法 / 前置詞+関係代名詞
19	LESSON 7 Which Jam Would You Like?	第18週とおなじ
20	LESSON 7 Which Jam Would You Like?	第18週とおなじ
21	Lesson 8 Paper Buildings	建築家の坂茂さんは,紙を使った建築により,世界中の災害現場で社会貢献を行っている. 分詞構文/「S+V+O+C(=原形不定詞)」/分詞構文(「~なので」,「~するとき」)/関係代名詞の非制限的用法
22	Lesson 8 Paper Buildings	第21週とおなじ
23	中間試験.試験答案返却.	これまでに学習したことについて試験を行う. 答案返却と解説.
24	Lesson 9 Lunch Delivery in Mumbai	インドのムンバイでは,妻や母親が作った温かい昼食を届けるダッパ-ワラーが活躍している. 関係副詞/ 仮定法過去・仮定法過去完了 / 関係副詞の非制限用法 / 仮定法
25	Lesson 9 Lunch Delivery in Mumbai	第24週とおなじ
26	Lesson 9 Lunch Delivery in Mumbai	第24週とおなじ
27	Lesson 10 Saving Wildlife from Global Warming	地球温暖化は山の木々やそこに生活する動物たち,そして私たちの生活にも影響を及ぼしている. 「S+V(=seem[appearなど])+to不定詞」/完了不定詞/省略/形容詞+to不定詞
28	Lesson 10 Saving Wildlife from Global Warming	第27週と同じ
29	Lesson 10 Saving Wildlife from Global Warming	第27週と同じ
30	定期試験答案返却・解説・振り返り, 今後の学習について	答案返却と解説. それをもとにそれまでの学習の振り返りを行い,各自の学習の仕方で改善すべき点があれば,具体的な改善方法を考える. 次に春休み中の課題,及び課題以外の今後の英語の学習の仕方について説明・アドバイスがなされる.
備考	前期,後期ともに中間試験および定期試験を実施する.	